第1　渡島管内の概況

1. 管内の概況

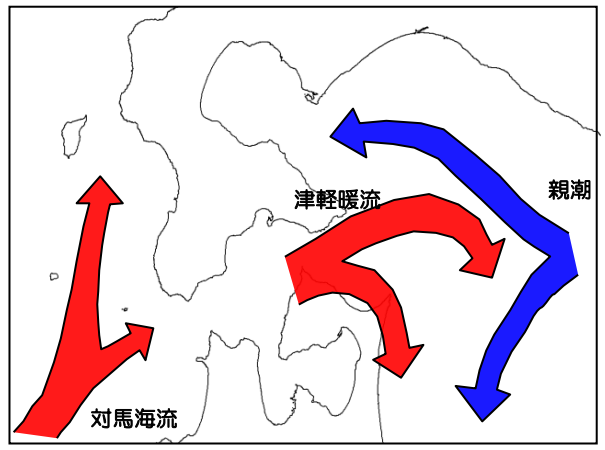
渡島管内は、北海道南西部、渡島半島に位置し、日本海、津軽海峡及び太平洋・噴火湾の3つの海域に面しており、南西端の松前町から北端の長万部町までの430.5kmに及ぶ非常に長い海岸線を有しています(旧熊石を含む)。

総面積は3,937.5k㎡で全道の4.7%を占め、長崎県(約4,131k㎡)に匹敵する広さです。2市、9町からなり、人口は395,365人と全道の7.5%を占めています。

市町村名	人口(人)	世帯数(戸)	総面積(km²)	海岸線(km)	備　考
松前町	7,257	4,147	293.3	73.2	
福島町	4,107	2,156	187.3	33.1	
知内町	4,388	2,074	196.8	19.0	
木古内町	4,176	2,243	221.9	15.7	
北斗市	46,487	22,148	397.4	20.4	H18.2.1合併(上磯町、大野町)
函館市	258,948	143,249	677.9	125.8	H16.12.1合併(函館市、戸井町、恵山町、椴法華村、南茅部町)
鹿部町	3,961	1,851	110.6	14.6	
森町	15,575	7,642	368.8	34.8	H17.4.1合併(森町、砂原町)
八雲町	16,685	8,544	956.1	55.7	H17.10.1合併(八雲町、熊石町)
長万部町	5,493	3,055	310.8	38.2	
七飯町	28,288	13,728	216.8	—	
合　計	395,365	210,837	3,937.5	430.5	

出典:住民基本台帳(平成31年1月1日現在)、平成27年国勢調査、国土交通省水管理・国土保全局編「海岸統計(平成28年版)」
国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調(令和元年7月1日現在)」

2. 水産業の概況



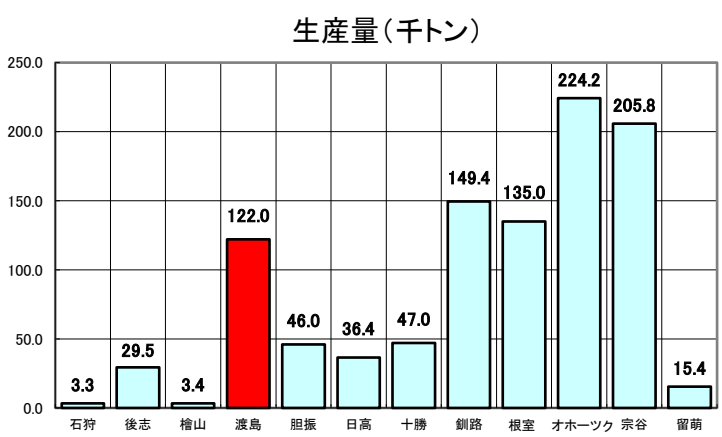
渡島管内では、日本海側は対馬海流(暖流)が北上し、その一部は津軽海峡を経て太平洋側に達します。また、太平洋側は、栄養豊富な親潮(寒流)が北から流入します。特に、暖流と寒流の混じり合う海域は魚の餌となるプランクトンが多く発生する好漁場となっています。

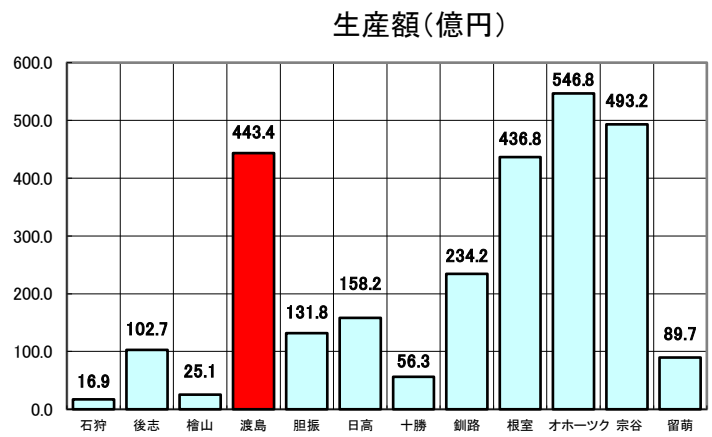
日本海側では、うに・あわび等の採介藻漁業、いか釣り漁業、まぐろ一本釣り漁業など、津軽海峡から太平洋側では、こんぶ漁業・養殖業、まぐろ延縄漁業、各種刺し網漁業や定置網漁業など、噴火湾では、ほたてがい養殖業、かれい刺し網漁業、えびかご漁業など、海域ごとに多種多様な漁業が行われています。

平成30年の漁業生産高は、生産量は122.0千tで全道(1,017.4千t)の12.0%、生産額は443.3億円で全道(2,735.1億円)の16.2%を占め、道内有数の漁業生産地域となっています。

近年は、資源水準の低迷などから漁業生産高は減少傾向にあり、漁業就業者の減少や高齢化が進んでいます。こうした中、振興局では、適切な資源管理や育てる漁業の推進、地域水産物の消費拡大や付加価値の向上、担い手の育成などの取組みを進めています。

【振興局別漁業生産高(平成30年)】





出典:北海道水産林務部「北海道水産現勢」

トピックス　令和元年(2019年)を振り返って

○　噴火湾養殖ホタテガイの減産

平成30年夏以降、管内の主要魚種の一つである噴火湾の養殖ホタテガイに、へい死が多く見られ、平成30年10月から令和元年5月の生産量は、約18,000トン（うち渡島管内は約14,000トン（対前期比28%））と大きく減少しました。

このような状況を踏まえ、道は、平成31年2月に水産林務部、渡島・胆振総合振興局及び道総研水産試験場で構成する「噴火湾養殖ホタテガイへい死対策会議」を設置。この対策会議では、ホタテガイの生産回復と漁業者の経営安定に向けて、海洋環境や漁業者の作業状況を調査するなど、へい死の原因究明や抑制対策を進めているほか、漁業者への各種金融支援に取り組んでいます。

○　ブリの消費拡大を目指した取り組みを実施

渡島管内で漁獲が増えているブリの需要を喚起し、漁業者の所得向上とイカ加工業者の補完原料としての活用を目的に、振興局の独自事業としてブリの消費拡大推進事業を進めています。

[2月]　函館短期大学付設調理製菓専門学校が「はこだてＦＯＯＤフェスタ」で「鰤（ぶり）五香粉揚げ丼」を販売し、100食が１時間で売り切れ。食彩感謝祭でも「ブリ巻き」などの料理を提供し、すべてが完売するなど好評を博しました。

[9月]　札幌市中央卸売市場での「市民感謝消費拡大フェア」に出店。函館産ブリのフライを１２００人に無料で振る舞いました。

[10月]　函館水産高校の授業の中で、缶詰「ぶりオイル漬け」約300缶を製造。北斗市の「れいんぼー祭り」や道南いさりび鉄道などで配布。老若男女問わず、「とてもおいしい」という感想が聞かれました。

[11月]　「はこだて・ブリ料理教室」を函館市内で開催。平成30年に実施した「はこだて・ブリ料理コンテスト」の上位作品など、今まで調理したことのないブリ料理に挑戦しました。

○　過去２番目に低い漁業生産高

令和元年（1-12月）の渡島管内の漁業生産高（速報値）は、数量で9万1千トン（前年比95%）、金額で276億円(同62%)となる見込みです。数量は、現在の統計を取り始めた昭和33年以降、昭和40年の8万6千トンに次いで、過去2番目に低い数値となります。

ホタテガイ、スルメイカ、サケなどが大きく減産となった一方で、近年漁獲が増えているブリ、前年の４倍近い水揚げとなったサバなどが、増産となっています。

【参考】 渡島総合振興局管内の概要

1　基本項目

項　目	全　道	渡島管内	割　合	振興局別順位	摘　　要
面積(km2)	83,424	3,937	4.7%	9位	全国都道府県市区町村別面積調 （国土交通省国土地理院） （令和元年7月1日現在）
人口（人）	5,304,413	395,365	7.5%	3位	住民基本台帳（総務省） （平成31年1月1日現在）
漁業就業者数（人）	24,378	5,499	22.6%	1位	2018年漁業センサス（農林水産省） （平成30年11月1日現在）
漁業経営体数	11,089	2,885	26.0%	1位	2018年漁業センサス（農林水産省） （平成30年11月1日現在）
沿岸漁協数	71	14	19.7%	1位	北海道水産林務部調べ （令和元年8月1日現在）
港湾数	41	5	12.2%	3位	北海道水産林務部調べ （平成31年4月1日現在）
漁港数	243	57	23.5%	1位	北海道水産林務部調べ （平成31年4月1日現在）
漁船数	24,119	5,611	23.3%	1位	北海道漁船統計表 （平成30年12月末現在）
漁業生産量（t）	1,017,441	122,049	12.0%	5位	平成30年北海道水産現勢
漁業生産金額（百万円）	273,510	44,342	16.2%	3位	平成30年北海道水産現勢

※八雲町熊石地区を含む

2　主要魚種の漁獲量（平成30年）

項　目	全　道	渡島管内	割　合	振興局別順位	摘　　要
ほたてがい	385,354	60,579	15.7%	3位	1位：宗谷(146,690t)
するめいか	15,542	6,142	39.5%	1位	
ぶり	8,231	5,063	61.5%	1位	
すけとうだら	120,441	13,698	11.4%	4位	1位：釧路(31,435t)
こんぶ	14,441	4,611	31.9%	1位	
さけ	64,270	2,561	4.0%	6位	1位：オホーツク(28,949t)
さば	8,942	3,761	42.1%	1位	
みずだこ	18,743	1,644	8.8%	5位	1位：宗谷(5,533t)
やりいか	514	363	70.6%	1位	
なまこ	1,963	379	19.3%	2位	1位：宗谷(789t)
まぐろ	69	69	100.0%	1位	
きたむらさきうに	334	108	32.3%	1位	
わかめ	142	121	85.2%	1位	
くじら	5	5	100.0%	1位	

出典：平成30年北海道水産現勢　　※単位：トン、八雲町熊石地区を含む